令和５年度　多摩市立東落合小学校　　授業改善推進プラン　　教科名　理科

理科における指導の重点（身に付けさせたい力）　※学習指導要領に照らし合わせて	
ア（知識及び技能）	イ（思考力、判断力、表現力等）
・自然の事物・現象について理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能	・観察、実験などを行い、問題を解決する力

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（２月）
中学年	・実験・観察を行う際の観察の視点に個人差が見られる。ア　イ ・生活経験等の差から学習問題に対する予想をもつことに個人差が見られる。イ	・実験を行う前に、学級全体で観察の視点を共有し、実験の際にどこを観察すれば良いのかを明確にする。 ・主に「予想」や「問題設定」の場面において自分の考えをもつ時間を設定し、対話することを通して自分の考えを共有し合う場面を設ける。予想が難しい児童は対話を通して友達の意見を参考にして予想を立てさせる。	毎単元 毎単元	・目的を的確に理解して実権を行い、実験結果をもとに考察・分かったことを記入することができた。 ・生活経験を基にして予想したり、友達の意見を基にした予想をたてたりして、各自が予想をたてたうえで実験を行うことができた。
高学年	・学習の内容や活動においては、意欲的に取り組むが、生活に関連付けて予想したり、予想に対する考察をしたりすることに課題がある。ア　イ	・実験を行う前に、具体的な生活経験や、既習事項等を想起させてから「予想」を立てさせる。 ・定型文を使い、書く内容を明確にして「考察」を書かせる。	毎単元 毎単元	・生活や既習事項に関連付けて予想を立てることができた。 ・定型文を用いたことで、問いと正対した考察を書くことができた。

■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について

全学年：

- 単元ごとにどのような場面で ICT を使用するのが有効かを考え、動画コンテンツや、撮影機能等を活用していく。
- 実験や観察の様子をタブレット端末で撮影しておき、後で見返したり、友達と見合ったりできるようにする。

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

- 「問題」「予想」「方法」「結果」「考察」「まとめ」などの一連の流れが分かるようなノート記載の仕方を示し、それに基づき指導をしていく。
- 児童の考えを生かして実験計画を立てたり、実験を行ったりすることで、多面的な視点から問題について検討したり、科学することの面白さを味わわせたりする。